

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 26 日 (2019.9.26)

【公開番号】特開 2018-30342 (P2018-30342A)

【公開日】平成 30 年 3 月 1 日 (2018.3.1)

【年通号数】公開・登録公報 2018-008

【出願番号】特願 2016-165769 (P2016-165769)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/52 (2006.01)

D 2 1 H 27/30 (2006.01)

D 2 1 H 19/72 (2006.01)

D 2 1 H 19/40 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/52 1 1 0

D 2 1 H 27/30 Z

D 2 1 H 19/72

D 2 1 H 19/40

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 19 日 (2019.8.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

平板結晶構造を有する無機微細粒子は、昇華型捺染インク受容層中でインクバリアー層を形成し、基材へのインクの浸透を抑制し、インク受容層中にインクを保持する役割を有する。平板結晶構造を有する無機微粒子としては、例えば、親水性を有する微粒クレ、二級クレやデラミクレが好適に用いられ、 $0.4 \sim 2.3 \mu\text{m}$ の範囲、好ましくは $0.4 \sim 1.4 \mu\text{m}$ の範囲にメジアン径 d_{50} を有し、アスペクト比が $5 \sim 30$ 、好ましくは $8 \sim 20$ の無機微粒子を用いることにより、CMCの連続被膜の形成を妨げずに無機微粒子によるインクバリアー層を形成することができる。メジアン径が $0.4 \mu\text{m}$ 未満、アスペクト比が 5 未満の無機微粒子では、十分なインクバリアー層を形成することができず、転写時にインクの裏抜けが生じやすくなる。メジアン径が $2.3 \mu\text{m}$ を超える無機微粒子では、インク受容層塗料中での微粒子の沈降が容易に発生し、塗料の流送性等のハンドリングが低下し、品質の安定を妨げる。アスペクト比が 30 を超える無機微粒子では、バリアー性が高くなり過ぎてインク乾燥性を低下させる。